

理学療法かわら版

一般社団法人
山形県理学療法士会

目次

理事リレーコラム	1	理学療法週間の高校生の感想	8
学会趣意書・学会日程	2	フレッシューズ紹介	9
認定理学療法士の活躍	3	事務局より・編集後記	10
各部の活動報告	4		



理事コラム

広報部
調査部担当理事
青空訪問看護事業所
鈴木 健太

今回の理事コラムを担当させていただきます、広報部と調査部担当理事の鈴木健太です。これまでは教育部の部長を2期4年務めさせていただきました。広報部と調査部を担当する事となり、2つの部がどのような仕事をしているのか、そしてどのような事を目指していく必要があるのかをお伝えしたいと思います。

広報部の仕事は大きく分けると「広報誌の発刊」「理学療法週間の運営」「ホームページ管理」の3つです。広報誌は会員向け情報誌の「理学療法かわら版」と一般向け広報誌の「山形県理学療法士会広報誌」があります。理学療法かわら版は最新の情報を掲載し、会員の皆様が山形県理学療法士会で行われている企画(学術大会や研修会等)を知る機会となり、興味・関心をもっといただける様に内容を検討しています。その他に、新たに会員となった仲間の紹介(フレッシューズ紹介)と会員動向について、そして、前回(第15巻)から認定理学療法士を取得した会員へのインタビューを掲載しています。年2回発刊していますので、目を通していただくと幸いです。一方で、山形県理学療法士会広報誌は一般の方や他職種に対して理学療法士を知っていただく内容となっています。活動報告(公益事業推進部)や豆知識、学校紹介や施設紹介を掲載しています。2つの広報誌はホームページ上で誰でも見る事ができるため、広報活動につながると考えています。

理学療法週間の運営として、高校生の理学療法体験の取りまとめを行っています。今年度は参加希望者が多く、参加者数を制限せざるを得ない状況でした。山形県内の高校生は理学療法に対する関心が高い事がわかりま

したが、理学療法体験は会員の皆様の協力があって実施できております。この場をお借りして御礼申し上げます。

ホームページ管理として、最新情報や各部の案内・活動報告の掲載を随時行っています。

調査部の仕事は、各部からの依頼に基づき調査を行う事です。具体的内容として、アンケートの発送、回収、集計等を行います。依頼内容としては、山形県理学療法士会運営の基礎資料に関する事、各種調査事業に関する事、理学療法士の需給に関する事、その他となっています。調査部への依頼は少ないですが、これからは積極的に自分たちの行っている事、行ってきた事を調査し、提示していく必要があると考えます。

さて、厚生労働省では、2025年を目途に、高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送れる様に、医療や介護、生活支援、介護予防を一体的に提供する地域包括ケアシステムの構築を推進しています。これからは、住民や行政の方などに理学療法を理解していただき、理学療法士を知っていただく事が重要となっています。職場にとどまらず、対外的な活動にも力を入れて、職域の拡大を図らなければいけない時代となっています。広報活動(Public Relation: PR)は「良い仕事をうまく公表する事」ですが、理学療法士は良い仕事をする事に比重が多かった様に感じます。良い仕事を公表する手段が山形県理学療法士会に必要ですが、広報部と調査部の仕事が少しでも広報活動の手段となり、会員の皆様が様々な場所で活躍する際の一助になれるように頑張りたいと思います。

第 27 回 山形県理学療法学術大会

趣 意 書

『役割の再考 ～地域生活を支える理学療法士であるために～』



学術大会長
日本海総合病院
酒田医療センター

五十嵐 めぐみ

超高齢社会を目前に控え、理学療法士を取り巻く環境は近年目覚ましく変わってきています。国は、高齢者の尊厳保持と自立支援を目的に、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで送ることができるためには、「効率的かつ質の高い医療提供」と「地域の包括的な支援・サービス提供」の体制を整えることが不可欠であると述べ、これらを整備すべく「地域包括ケアシステムの構築」を推進しています。

そのような状況の中、地域生活の中で患者・利用者とその家族が自分らしく生きていくため、私たち理学療法士は的確な評価と質の高い技術を提供していくことが求められています。

そこで、第 27 回山形県理学療法学術大会のテーマを「役割の再考～地域生活を支える理学療法士であるために～」と題し、それぞれの施設で、患者・利用者の地域生活を支えるために、理学療法士が身体機能の向上を基本とし、生活機能をどう高め、活動と参加に結び付けるためにどう取り組んでいるのか、そして今後の課題について考えていきたいと思います。

特別講演には、日本理学療法士協会理事である森本榮先生をお迎えして、2025 年に向けての今後の動向、理学療法士の役割、これから先、我々理学療法士が社会に貢献し続けるためにすべきことをご講演していただきます。また、シンポジウムでは、医療の立場として、急性期・回復期を担う病院、介護の立場からは通所リハ、訪問リハ、そして医療と介護の架け橋になる地域包括ケア病棟とそれぞれに勤務する先生方から話題を提供していただき、患者・利用者の活動と参加を促すための評価と介入における現状と課題、取り組みについて検討したいと考えています。

公開講座は、介護予防講座で高齢者から多く相談を受ける膝痛について、その予防と治療に関するお話を日本海総合病院整形外科の針生光博先生から講演していただきます。

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで送れるように地域がサポートしあうという地域包括ケアシステムが本格的に始動する年に、最新の情報を交えながら会員の皆様と検討する機会にしたいと考えております。

多くの会員のご参加とご発表を心からお待ちしております。

第 27 回 山形県理学療法学術大会日程（案）

日時：平成 30 年 6 月 16 日（土）～ 17 日（日）

場所：酒田市公益研修センター（酒田市飯森山 3 - 5 - 1 東北公益文科大学内）

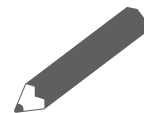
< 1 日目 > 平成 30 年 6 月 16 日（土）

9：30～ 受付
10：00～10：30 開会式
10：30～10：40 休憩
10：40～11：40 口述発表 I
11：40～13：00 休憩
13：00～14：30 特別講演
14：30～14：40 休憩
14：40～16：10 シンポジウム
16：10～16：20 休憩
16：20～17：20 平成 30 年度定期総会
18：30～ 懇親会

< 2 日目 > 平成 30 年 6 月 17 日（日）

9：00～ 受付
9：30～9：40 新人賞表彰、次期学術大会長挨拶
9：40～10：40 口述発表 II
10：40～10：50 休憩
10：50～11：50 ポスター発表
11：50～13：00 休憩
13：00～14：00 市民公開講座
14：00～14：10 閉会式

認定理学療法士の活躍



今回は、認定理学療法士（介護予防）を取得された日本海総合病院酒田医療センターの栗田宜享先生にお話を伺いました。

Q. 認定理学療法士を目指すきっかけは何ですか？

動機は単純で、PTが急増する時代が不安で焦ったからです。後輩にも、少しは先輩が頑張っている背中を見せたいとも思いました。介護予防を選んだのは、近年メディアや学会で介護予防が謳われているのに、自分がPTとして出来ることをイメージできない、つまり苦手だと思ったからです。

Q. 資格取得までの苦労した点は何ですか？

研修が遠方なことは多少つらいです。ポイントの取得は、介護予防領域では様々な領域のポイントが利用できるのも、あまり苦に感じませんでした。症例レポートは、病院勤務の自分が予防について何を書いたら良いのか悩みましたが、臨床を予防の視点で見直して考えてみました。すると臨床で至らない点も多く見え、大分反省しました。レポートが再提出にならなかったことが救いですね。

Q. 資格取得後の変化や良かった点は何ですか？

臨床の考え方は変わりました。介護予防は、地域での活動の印象が強いですが、全てのPTが地域で活動できるわけではありません。予防を学び、自分のいる場所で出来る事、すべき事、それをどうやったら実現できるかを考えるようになりました。

Q. 今後の取り組みや展望をお聞かせください。

私は病院勤務なので、日々の臨床に予防の概念を活かしていきたいです。病院での介護予防というとピンと来ませんが、結局は自助力、互助力の強化、共助の整備だと思います。つまり、患者様が退院後も自ら機能回復や社会参加へ挑戦しようと思える、個別的な関わりを模索したいです。また、予防事業は一对多数の対応が多いですが、私は個別性への対応も、PTの強みだと思っています。介護予防における個別性をどう見出すか、というテーマにも取り組んでみたいです。県士会でも、介護予防領域の専門領域推進部ができましたが、その中でも自分の疑問や悩みを仲間と深めつつ、得た知見や可能性は研究という形で検証できたらベストかなと思います。

Q. 最後に、これから認定理学療法士を目指す方へアドバイスをお願いします。

私は、患者様に何かに挑戦してもらうために、自分も何かに挑戦していきたいと思います。認定に挑戦して得た知識や自信は、必ず日々の臨床を後押ししてくれます。スキルアップの糧としても、自分のPT像を見直す点でも、認定を活用してみてもいいのではないでしょうか？認定取得はハードルが高いと感じる方も、県士会の専門領域推進部のメンバーに声を掛けてみてほしいなと思います。認定の相談はもちろん、各領域の耳寄り情報も聞けるかもしれません。私も予防領域で、皆さんのご連絡をお待ちしています！



各部の活動報告

平成 29 年度 第 2 回生涯学習部研修会 活動報告

日 時：平成 29 年 9 月 3 日（日） 9：30～（受付 9：00）

会 場：山形医療技術専門学校

参加者：77 名

内 容：選択テーマ 5 テーマ

9：40～10：40 「E-1 臨床実習指導方法論」	山形医療技術専門学校	杉原 敏道 先生
10：50～11：50 「D-2 生涯学習と理学療法の専門領域」	鶴岡協立リハビリテーション病院	齋藤 高興 先生
12：50～13：50 「C-4 高齢者の理学療法」	介護老人保健施設美の里	井上 由香 先生
14：00～15：00 「C-3 内部障害の理学療法」	公立置賜総合病院	海老名陽介 先生
15：10～16：10 「D-3 理学療法の研究方法論（EBPT 含む）」	山形医療技術専門学校	長沼 誠 先生

生涯学習部理事より

研修会に参加された皆様、準備をしてくださった生涯学習部部員の皆様、大変お疲れ様でした。今回の研修は、新入会員以外にもたくさんの会員の方からご参加いただきました。新プロを修了へ向かう会員が増えていることに大変嬉しく思っております。

平成 31 年度から生涯学習システムは大きく変わり、研修時間が大幅に増える見込みとなっています。まだ新プロ修了されていない方は、その前に修了することをお勧めいたします。

次回、第 3 回生涯学習部研修会は、11 月 5 日に山形県立保健医療大学にて 5 テーマの講義があります。たくさんの方のご参加をお待ちいたしております。

鶴岡協立リハビリテーション病院 齋藤 高興

新入会員の感想

今年度から理学療法士として勤務させて頂いており、今回の新人教育プログラムは 2 回目の参加となりました。今回の新人教育プログラムでは、治療技術や呼吸器についての知識のほか、今後経験していくであろう臨床実習指導方法や生涯学習についてなど幅広い分野の講義を受講することができ、理学療法士としてどう活動していくか改めて考える機会にもなりました。

治療技術等に関しては「内部障害の理学療法」、「高齢者の理学療法」を受講し、排痰技術や高齢者に対する評価を学ぶことができました。私の所属している国立病院機構山形病院では高齢の方や自己排痰が困難である患者様の割合が他の病院と比較して多いと感じています。今回得た知識を患者様に還元していけるよう努めていきたいと思います。「生涯学習と理学療法の専門領域」の講義では、認定理学療法士、専門理学療法士となるまでのステップを詳細に知ることができました。

今回の研修を通して、現在行っている治療を見つめ直すだけでなく、これからの見通しを立てる機会にもなったと感じています。今後も患者様へ還元できるよう研鑽を積んでいきたいと思います。

国立病院機構山形病院 佐藤 拓哉

入職から5か月が経ち、2回目の生涯学習部研修会に参加させていただきました。今回の研修では、認定理学療法士や専門理学療法士になるための過程や理学療法の専門領域について多く学ぶことが出来ました。セラピストとしてより効果的な理学療法や根拠のある治療を提供していくため、常に新たな知識や技術を取り入れ、生涯学習を続けることが重要であることを改めて痛感しました。

また、臨床実習指導方法論についても学び、ゆくゆくは自身も後進を指導する立場になるのだと自覚しました。現在はまだ「学ぶ人」としての側面が強いですが、実習生の良き手本として「教える人」になれるよう、理学療法士としての臨床力や接遇を磨いていきたいと感じました。

鶴岡協立リハビリテーション病院 海藤 夏稀

講義風景

杉原 敏道先生



齋藤 高興先生



井上 由香先生



海老名陽介先生



長沼 誠先生



受講生の皆さん



長時間の研修、お疲れ様でした！

(文責：山形大学医学部附属病院 辺見 千佳)

各部の活動報告

庄内支部『症例検討会』報告

第3回庄内地区勉強会『症例検討会』報告

日時：平成 29 年 9 月 23 日（土）14：00～16：10

場所：庄内病院 3F 講堂

庄内支部では今年度も平成 29 年 9 月 23 日に症例検討会を庄内病院にて行いました。

支部会員の皆様のご協力のもと 5 演題が集まり急性期から生活期までバラエティに富んだ内容となり 40 名の方にお集まりいただきました。

座長を佐藤恵太先生（湯田川温泉リハビリテーション病院）に務めて頂き、佐太木淳一先生（庄内病院）、本多敏樹先生（鶴岡協立病院）、佐藤美生先生（酒田医療センター）、工藤貴子先生（協立リハビリテーション病院）、蓬田佳帆先生（介護老人保健施設かけはし）の 5 名の先生方より発表していただきました。

発表に協力して頂いた先生方は先輩たちの指導のもと、臨床の現場で日々努力し吸収力の高い若手の先生方でした。資料作成や発表を通してより自身の症例と向き合うことができたのではないかと思います。また、今回お集まりいただいた先生方は急性期から生活期のそれぞれの分野で活躍されており、発表者への質疑は、様々な切り口からの見方や考え方を気付かせて下さる貴重な内容でした。理学療法士としてどのような関わりを行なったか、病棟の看護師と一緒に患者に関わる際、理学療法士としてどのような指導を看護師に行ったか、行うべきであったかなど発表者だけでなく聴講者にとっても非常に勉強になる症例検討会が行われたと思います。

今回の症例でも見られるように、近年、神経難病の患者様と関わる機会が増えています。また、そういった患者様が介護保険領域でリハビリを行う機会も増えています。それぞれの現場でより質の高い理学療法を提供できるよう、勉強会や症例検討会を通してお互いの経験を共有しながら多くの学びを得ることができるような会にこれからもしていきたいと思います。

休日にお集まりいただいた参加者の皆様、大変お疲れ様でした。また、座長の湯田川温泉リハビリテーション病院の佐藤恵太先生をはじめ、発表して頂いた 5 名の先生方に深く感謝いたします。また、支部会員の皆様には今後ともご協力とご参加をお願いいたします。（文責：リハビリ訪問看護ステーションみどり 中村 千佳）



各部の活動報告



福祉機器・介護用品販売レンタル／車いすオーダー制作

a (有)アシスト

〒991-0048 山形県寒河江市みずき一丁目6-4
TEL (0237) 83-5525 / FAX (0237) 85-5454

E-mail: assist@corp.email.ne.jp

◆山形県厚生省労働省指定◆
W (有) 渡部義肢

◆営業品目◆

義足・義手、コルセット、車椅子、ステッキ、下股装具、上股装具、骨格義足(モジュラー)

〒997-0861 山形県鶴岡市桜新町8番地52号
TEL (0235) 25-9366 FAX (0235) 25-9364

2017 理学療法週間 「高校生の理学療法体験」参加者の感想

2年 女子

今は健康で何も感じなくても怪我をしたときかを考えると大変だと感じました。

2年 男子

実際に杖を使って歩いてみたり、松葉つえで階段を上り下りさせてもらい、障害を持っている人の気持ちや大変さを身を持って体験することができてとても良かったです。

3年 女子

様々な道具を使って、一人一人に合ったリハビリを考えていくことや、患者さんとのコミュニケーションを大切にして、リハビリを行っている姿を見ることが出来てとても良い体験をさせていただきました。

2年 男子

今回の理学療法体験を通して、改めて将来のことを考えることが出来ました。まだまだ知らないことが多いので理学療法について調べたいと思います。

2年 女子

実際の仕事の現場を見させていただきありがとうございました。実際に体験してみて大変さが身に染みてわかりました。しっかりとした理学療法士になれるように頑張りたいです。

2年 女子

想像以上に仕事が多いと思った。退院後のことまでもサポートしていかなければならず、大変だと思った。

3年 女子

私は3年生になってから看護師から理学療法士に志望を変えました。わからないことばかりだったけれど、たくさんを知れて良かったです。今後の進路実現に生かしていきたいと思いました。

3年 女子

生の現場を見学できたので、実施にどのようにサポートしていくかなどを見られたのですごく勉強になりました。改めて理学療法という仕事がかっこいい仕事だと思いました。



福祉用具開発・レンタル販売 <http://www.tamatsu.jp>



本 社 山形県鶴岡市美咲町32-7(〒997-0857)
TEL 0235-23-6333/FAX 0235-25-3889

福祉用具の製作・販売・レンタル

風の郷工房 (有)

東置賜郡高畠町一本柳 2535-1
TEL 0238-52-1446 FAX 0238-52-1411
URL: <http://www.kazenosato.co.jp/>
座位保持装置・車椅子
電動車椅子・歩行器など



医療機器・福祉用具販売レンタル
TOTAL MEDICAL COMMUNICATION

株式会社 **トーク**

日医器連通正事業所 第9406017号
福祉用具貸与事業所 0670700434
E-mail: took@coral.ocn.ne.jp

〒997-0806
山形県鶴岡市遠賀原字稲荷 41-2
TEL (0235) 22-1009 FAX (0235) 25-8139

安心と信頼

・前腕義手・股義足・下腿義足・骨格構造義肢・
(大型短脚型を含む)
・腰・胸椎装具・靴型短下肢装具・歩行補助つえ・車イス・
(コルセット)

山形県指定一級義肢装具士
(有)安達ブレイス製作所

安 達 武 雄
山形市江保 3 丁目 15-1
☎ (023) 681-0456



フレッシャーズ紹介.....



内容

①勤務先 ②経験年数 ③出身地 ④出身校 ⑤趣味・特技 ⑥コメント



細川 翔月

- ①篠田総合病院
- ②1年目
- ③岩手県
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤サッカー、釣り、音楽鑑賞
- ⑥明るく元気に頑張ります



熊澤 輝也

- ①篠田総合病院
- ②1年目
- ③山形県
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤バスケ、カフェめぐり
- ⑥笑顔を届けます



奈良崎 凌

- ①公立学校共済組合 東北中央病院
- ②1年目
- ③山形市内
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤ギャンブル
- ⑥宝くじがあたりますように。



多田 俊樹

- ①山形徳洲会病院
- ②1年目
- ③山辺町
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤ゆっくり家で過ごすこと
- ⑥患者様のために日々、努力を怠らずに頑張ります。



佐藤 圭佑

- ①三友堂リハビリテーションセンター
- ②1年目
- ③米沢市
- ④仙台青葉学院短期大学
- ⑤サッカー
- ⑥患者様に信頼されるPTになれるように日々努力します。



齋藤 彩香

- ①三友堂リハビリテーションセンター
- ②1年目
- ③高畠町
- ④山形医療技術専門学校
- ⑤運動すること
- ⑥患者様一人ひとりに寄り添った理学療法が行えるよう、日々努力します



又吉 喬野

- ①米沢市立病院
- ②1年目
- ③沖縄県
- ④山形県立保健医療大学
- ⑤読書
- ⑥患者様の心に寄り添える理学療法士に近づけるよう1日1日を大切にしながら日々過ごしていきたいです。



佐藤 弘亮

- ①鶴岡協立病院
- ②1年目
- ③山形県鶴岡市
- ④日本福祉大学
- ⑤高校野球観戦
- ⑥患者様1人1人に対し熱意を持ち治療にあたれるよう頑張ります。

山形小木医科器械株式会社

山形市北町三丁目8番20号
電話 (023) 681-3633 (代)

あなたの笑顔が見たいから 株式会社 蔵王サプライズ

●リネンサプライズ・ホスピタルリネン事業部 ●ホームヘルスケア事業部 ●リースキン事業部

ホームヘルスケア事業部 山形市銅町二丁目21番4号 TEL (023) 674-9600
支店・営業所 仙台支店/新庄営業所/庄内営業所

医学書のことならお任せください



日本医書出版協会認定医学書専門店
医学書、看護学書、医書一般

株式会社 高陽堂書店

山形市大野目3-1-17 TEL 023(631)6001 FAX 023(632)1168
http://www.koyodo.com/ email info@koyodo.com

山形県より、福祉用具販売・取付の推薦を
いただき、官公需適格組合証明を取得

協同組合 生活住環境整備山形

〒990-0805 山形市檀野前13-2
TEL 023-681-5030 FAX 023-681-7609

●来年(2018年)の年会費から会費納入期限が3ヶ月早まります

2018年から、年度開始前の3月末までに納入がなかった場合、4月より会員権利全面停止となります。納入期限は、2018年3月31日です。また、6月末までに納入がなかった方は、会員資格喪失により退会となりますので、ご注意ください。なお、楽天カード、口座振替による納入の方の引き落とし日は、2018年3月27日です。引き落とし登録のない方には、2018年3月上旬より振込用紙が順次発送予定となっております。

●楽天カードでの会費の納入をお願いします

日本理学療法士協会では、会費納入用クレジットカードとして「楽天カード」(年会費無料)を指定しております。会費の納入漏れがなくなり、手数料も無料です。

・申し込み方法

日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」より申込みください。

楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続き後にお手持ちのカードが、会費決済用カードとして利用可能となります。

日本理学療法士協会ホームページの「会員の方へ」→「年会費」にて、お手続きをお願い致します。

●会費割引制度導入について

2015年度年会費より、「育児休業割引」と「シニア割引」が導入となりました。対象の方は、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」→「会員管理」→「会費割引申請」にて、お手続きをお願い致します。

●会員登録情報について

山形県理学療法士会では会員管理のために、日本理学療法士協会の会員情報を共有しております。会員情報に変更がありましたら早急に日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」より会員情報の変更をお願い致します。

思いやりリハビリ・まごころケア

(有)福祉用品やまがた

介護用品ショールーム

〒998-0842 山形県酒田市亀ヶ崎4-2-40
電話(0234) 26-1725
FAX(0234) 26-6780



義肢・装具・車いす
他整形医療器具製造・販売

(有)エムサポート

〒990-2212 山形市上柳110
TEL(023)687-2800 FAX(023)687-2812
取引銀行 山形銀行宮町支店(普通)0241881



オーダーメイドの福祉用具

株式会社 ライフケアサポート

山形県東根市温泉町1-13-10
TEL0237(43)6833 FAX0237(43)6832

医療の未来を見つめる総合商社



岡崎医療株式会社

■本社 山形市あこや町三丁目4番3号
■山形営業所 〒990-0025 ☎023(代)623-0546番
■鶴岡営業所 鶴岡市大字安丹字村上4番10号
〒997-0057 ☎0235(代)22-0106番

生命科学・医療福祉分野を総合的にサポートする



株式会社 シバタイテック



■山形支店 〒990-2323 山形県山形市桜田東二丁目1番21号
TEL:023-642-8153 / FAX:023-623-5853
本社(仙台)・荏内営業所・鶴岡営業所・郡山営業所・ロジスティックセンター・メンテナンスセンター



有限会社 山形義肢研究所

——営業品目—— 代表取締役 植松 茂夫
義手・義足・コルセット・補装具 山形市飯田五丁目5番39号
補助ステッキ・松葉杖・車いす 電話(023)632-5214
整形医療器具

編集後記

かわら版16巻が発行になりました。今回は各部の今年度の活動報告を掲載しております。仕事との両立は大変ですが、みなで山形県理学療法士会を盛り上げていきましょう。

来年度の山形県理学療法学会大会は庄内地区での開催になります。趣意書と大会日程も掲載しております。その他、「認定療法士の活躍」・「理学療法週間の高校生の感想」と盛りだくさんです。どうぞご覧下さい。

三友堂リハビリテーションセンター 島貫

■発行/一般社団法人 山形県理学療法士会

■発行者/高橋 俊章

■編集者/鈴木 健太

■広報部/三友堂リハビリテーションセンター

〒992-0057 山形県米沢市成島町3丁目2番90号
TEL(0238)21-8100 FAX(0238)21-8119
E-mail:ptkouhoubu@yahoo.co.jp